

学長業績評価結果

日付	令和2年3月23日	評価対象者	栗林 澄夫
評価	適		
評価内容	<p>●所信表明等で示された内容の達成状況に基づく業績評価</p> <ul style="list-style-type: none">・所信表明等で示された項目のすべてに着手している。・ 今後は引き続き、各項目においてより効果が高められるよう期待したい。・ 中期計画に基づいて新しい大阪教育大学の将来像に向けた大学院改組を実施したことは、とりわけ評価できる。 <p>●国立大学法人評価委員会の評価に基づく業績評価</p> <p>①「業務運営の改善及び効率化に関する目標」、②「財務内容の改善に関する目標」、③「自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標」、④「その他業務運営に関する重要目標」において、それぞれの目標における年度計画の記載事項について、1項目は「年度計画を上回って実施している」、その他すべてが「年度計画を十分に実施している」と認められており、評定では上記4つの項目別評価において「中期計画の達成に向けて順調に進んでいる」と位置付けられている。</p> <p>●総評</p> <p>上記状況を踏まえると、学長の大学運営は順調に進んでいると考えられるので評価を「適」とする。</p> <p>なお、国立大学法人大阪教育大学を取り巻く状況は刻々と変化している。このような中、学内での情報共有をいっそう推進し、全学的に一丸となるように意識改革をすすめ、困難な状況に対応していただきたい。</p>		